

臨床検査医学科 専門研修プログラム

迅速で正確な検査結果を提供し、病院から頼られる臨床検査のプロになれる!



病院経営を縁の下から支えているのが、臨床検査医学科。

臨床病理学講座
葛 幸治 教授

私たちの守備範囲である臨床検査医学は、病院経営にとってなくてはならない重要な機能を担う領域。迅速かつ正確な検査結果の提供は、医師にとって診断を助けるパートナーであるだけでなく、病院にとっても適切な収益をもたらす存在なのです。また、附属病院臨床検査部は臨床検査の国際認証「ISO15189」を取得。最新機器を完備し、30~40分で約98%の検査結果報告が可能など、環境整備にも力を入れています。

研修Outline

専門研修修了後に得られる資格	日本臨床検査医学会専門医
専門研修プログラムでの症例数	年間総検体数 基幹施設での症例数: 4,478,588 関連施設を含めた総症例数: 7,185,841
関連病院	京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院
専門研修後の進路	大学に籍を残す場合は有給職(助教)として、附属3病院の臨床検査部に勤務します。籍を残さない場合は、他の医療機関で勤務しながら研究生または専攻生として臨床検査医を目指した研修を積むことになります。また、大学院生となる道もあり、大学院募集要項に記載しているカリキュラムを履修します。
初期研修で推奨されるローテーション診療科	臨床検査医学科
評価・支援制度	<ul style="list-style-type: none"> ●日本臨床検査医学会の卒後研修カリキュラムに沿った独自の研修プログラムを用意 ●毎月複数回、研修責任者(教授)と面談して進路や研修の進行状況を確認 ●本学の専門研修支援チームとも連携



※その他、3月以降のイベント情報は、卒後臨床研修センターWebサイトをご覧ください
http://www.kmu.ac.jp/residency/recruit/event_info.html

INFORMATION 説明会情報

- 腎泌尿器外科 松田 公志**
第57回関西腎泌尿器外科セミナー
●日時: 平成29年11月4日(土) 16:00~
●開催場所: ホテルアコーラ大阪守口
●参加対象者: 医師、研修医、看護師、薬剤師、医学生
連絡先 | 矢西 正明
- 第67回日本泌尿器科学会中部総会**
●日時: 平成29年11月24日(金)~26日(日)
●開催場所: 大阪国際会議場
●参加対象者: 医師、研修医、看護師、薬剤師、医学生(初期研修医、医学生は参加費無料)
連絡先 | 矢西 正明
- 第22回関西前立腺研究会**
●日時: 平成30年3月2日(金) 18:30~
●開催場所: ホテルアコーラ大阪守口
●参加対象者: 医師、研修医、看護師、薬剤師、医学生
連絡先 | 矢西 正明
- 泌尿器単孔式腹腔鏡手術ワークショップ**
●日時: 平成30年3月31日(土)
●開催場所: 千里ライフサイエンスセンター
●参加対象者: 医師、研修医(初期研修医は参加費無料)
連絡先 | 矢西 正明

- 小児科 金子 一成**
第42回 KMU小児臨床研究会総会
●日時: 平成29年11月11日(土)
●開催場所: コンベンションルームAP 大阪3F
●参加対象者: 小児科医、研修医、医学生
連絡先 | 辻 章志
- 第17回日本小児医学教育研究会**
●日時: 平成29年12月10日(日)
●開催場所: 大阪国際会議場
●参加対象者: 小児科医、研修医、医学生
連絡先 | 辻 章志
- リハビリテーション科 長谷 公隆**
北河内リハビリテーション地域連携研究会
●日時: 平成29年11月11日(土) 13:00~
●開催場所: 関西医科大学附属病院13階講堂
●参加対象者: 枚方市・寝屋川市の介護支援専門員、ソーシャルワーカー、リハビリテーション科スタッフ、リハビリテーション科ドクター、リハビリに興味のある研修医・医学生
連絡先 | 脇田 正徳
- 関西医科大学合同勉強会**
●日時: 平成30年3月31日(土) 13:30~18:00
●開催場所: 関西医科大学枚方学舎1階多目的講堂
●参加対象者: リハビリテーション科スタッフ、リハビリテーション科ドクター、リハビリに興味のある研修医・医学生
連絡先 | 河北 麻衣

読者の声
ここでは読者の声をご紹介します!

あなたの「声」を掲載しませんか?

卒研ニュースでは読者のご意見・ご感想を募集しています。気になることや面白いこと、施設を利用したご感想やご要望などさまざまな読者の「声」をお待ちしています。

応募先 sotugori@hirakata.kmu.ac.jp



関西医大で
スーパードクター
を目指そう

卒研センター NEWS

脳神経外科 専門研修プログラム

脳だけでなく、脊椎や脊髄、全身の血管から小児脳神経外科領域まで...
幅広い分野で高度な専門性と技術を身につけたエキスパートへ!



多彩なサブスペシャリティで 自由度の高い将来設計が可能



脳神経外科学講座
浅井 昭雄 教授



全身の血管をカテーテルで治療する血管内手術や、脊椎や脊髄を治療する脊椎脊髄手術、頭蓋底の病変を鼻から治療する内視鏡手術、ガンマナイフやサイバーナイフなどの定位放射線治療から、悪性脳腫瘍の化学療法や分子標的療法、てんかん、脳梗塞、認知症などの治療、そしてリハビリテーションも含む脳梗塞・脊髄損傷に対する神経再生治療まで、私たちの守備範囲は実に多彩で多様、広範囲。それだけに、様々な分野で専門性を身につけることができます。

もちろん、入局後はそれぞれの学会がカバーする指導医専門医認定資格を持った先輩たちが丁寧に指導。豊富な症例で実践的なスキルを身につけるとともに、研究活動もサポートしています。

専門研修修了後に得られる資格	日本脳神経外科学会専門医(取得後は、日本脳卒中学会専門医、日本脳血管内治療学会専門医、日本脊髄外科学会専門医の受験資格が得られます)												
専門研修プログラムでの症例数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>外来症例数</td> <td>入院症例数</td> <td>手術症例数</td> </tr> <tr> <td>基幹施設での症例数:</td> <td>8,182例</td> <td>12,807例</td> <td>389例</td> </tr> <tr> <td>関連施設を含めた総症例数:</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>884例</td> </tr> </table>		外来症例数	入院症例数	手術症例数	基幹施設での症例数:	8,182例	12,807例	389例	関連施設を含めた総症例数:	—	—	884例
	外来症例数	入院症例数	手術症例数										
基幹施設での症例数:	8,182例	12,807例	389例										
関連施設を含めた総症例数:	—	—	884例										
研修のために参加する学会	日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本脳卒中外科学会、日本脳腫瘍学会、日本脳神経外科救急学会、日本神経内視鏡学会												
初期研修で推奨されるローテーション診療科	脳神経外科、神経内科、麻酔科、救命医学科、循環器内科、循環器外科 など												

多くのサブスペシャリティ 若手全員が躍動できる医局

脳神経外科と聞くと「手術ばかりで大変」「難しい」と思うかも知れませんが、あながち間違いではありませんが、開業した先生、研究に勤しむ先生、手術に明け暮れる先生、外来診療で活躍する先生など、実は極めて多彩です。また、メインは血管障害・腫瘍の治療ですが、小児・血管内・外傷・脊椎・機能外科といったサブスペシャリティも豊富。その点、本学脳神経外科ではほとんどの分野を経験でき、東京大学や大阪大学などでさらなる研鑽を積むことも可能です。その結果、附属病院開院以降、脳外科専門医の現役合格率は100%

を記録。さらに、多くの女性脳神経外科医(現在5名)が入局し、活躍している全国でも数少ない貴重な施設なのです。このように脳神経外科での研修経験は、他科を目指す先生にとってもキャリア形成の助けになりますし、実際に様々な志向を持った先生が研修中です。もちろん私たち先輩医師が、皆さんの未来に有益となる研修を目指しています。一人でも多くの方が脳外科での有意義な研修を経験していただくことを願っています。興味がある方は気軽に声をかけて下さい。



脳神経外科学講座
7年目 助教
亀井 孝昌 医師

神経内科専門研修プログラム

打鍵器1本でどんな病気でも正確に診断できる神経内科医こそ、医療界のシャーロック・ホームズ



Common Diseaseから専門性の高い特殊な疾患まで幅広い神経疾患の臨床研修が可能

神経内科学講座
日下 博文 教授

筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの運動ニューロン病における世界的権威の一人・日下教授が率いる当講座は、臨床と症例を重視した研修を提供しており、丁寧な病歴聴取ときめ細やかな神経学的診察ができる実力が自然と身につくのが特徴。また、大学附属病院で神経内科が脳血管内治療も行う、全国有数の講座でもあります。入局後の研修内容は個々人の希望に合わせたテーラーメイドで構成。国内外への留学も可能です。

研修内容

神経生理検査(筋電図、脳波)や神経画像診断、さらに筋生検、神経生検、神経病理などを学べます。また、脳血管障害に関しては脳神経血管内治療学会専門医の指導の下、超急性期のカテーテル治療から再発予防治療に至るまで、総合的に研修を行うことが可能です。

専門研修修了後に得られる資格

日本内科学会内科専門医、日本神経学会専門医

研修のために参加する学会

日本神経学会 総会・近畿地方会、日本内科学会 総会

専門研修後の進路

- 大学院入学
- 北野病院、天理よろづ相談所病院、湘南鎌倉総合病院など、症例が豊富な国内他施設への国内留学
- Montefiore Medical Center, Mayo Clinicなどへの海外留学
- 日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本臨床神経生理学会認定医などの取得

初期研修で推奨されるローテート診療科

内科(神経・呼吸器・感染症・血液・膠原病・循環器・腎臓・内分泌・代謝・消化器)・脳神経外科・救急医学科



研修Outline

整形外科専門研修プログラム

豊富な症例と親切・丁寧な指導、医局員を大切に作る風土で充実した研修が可能!



困ったときは協力しあう、を理念に、多数の整形外科専門医を育成

整形外科学講座
齋藤 貴徳 教授

当講座では、基本的手技から高度な専門的知識と技術まで修得できます。また、合同医局研修会を毎月1回開催し、専門知識を深めるだけでなく、皆さんの希望を汲み取って最適な研修を提供できるよう心がけています。さらに、附属病院では広範囲椎体間固定術や、椎体形成術、前方・後方同時椎体間固定術など、総合医療センターでは人工関節治療や股関節臼蓋形成術、大腿骨骨切り術など、最先端の手術手技を学ぶことが可能です。

専門研修修了後に得られる資格

日本整形外科学会専門医

研修のために参加する学会

日本整形外科学会、中部日本整形外科・災害外科学会

専門研修プログラムでの症例数

	外来症例数	入院症例数	手術症例数
基幹施設での症例数:	27,621例	18,870例	6,633例

専門研修後の進路

- 大学院入学(課程博士コース)
- 臨床を継続しながら学位修得(論文博士コース)
- 関西医科大学附属病院または関連病院で専門性を高める研修習得できる専門医・指導医:日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、運動器リハビリテーション医、スポーツ医、リウマチ医、日本脊椎脊髄病学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本臨床神経生理学会技術認定医、日本手の外科学会専門医など

初期研修で推奨されるローテート診療科

整形外科、リハビリテーション科、救命救急科、麻酔科 など



研修Outline

小児科専門研修プログラム

多彩な専門医が直接指導して、日本、そして世界のこどもたちの健やかな成長を守る小児科医を育成



90年近い歴史を持つ小児科学講座で、一緒に切磋琢磨していきましょう

小児科学講座
金子 一成 教授

本学附属病院小児科には70床の小児医療センター、およびこども館(小児科外来診療施設)があり、新生児領域、腎臓、血液腫瘍、循環器、消化器疾患など呼吸管理が必要な重症例を含む多数の症例を経験できます。さらに、連携施設ではCommon Diseaseを数多く経験でき、専門医取得に必要なあらゆる症例を研修することが可能です。また、小児心身医療や食物アレルギーなどの分野も学べます。

専門研修修了後に得られる資格

日本小児科学会専門医

専門研修の目標

新生児から思春期に至る幅広い年齢層の多様な疾患の診療を通して、[こどもの総合診療医]となる

専門研修プログラムでの症例数

	外来症例数	入院症例数
基幹施設での症例数:	21,539例	20,220例
関連施設を含めた総症例数:	468,378例	62,204例

専門研修後の進路

- 大学院入学(後期研修中の入学も可)
- 関西医科大学附属病院または関連病院の小児科において、様々な専門領域(サブスペシャリティ)の専門医資格取得に向けた研修参加
- 国内外の施設での研究を目的とした留学
- 地域に根ざした小児医療への貢献(小児科医院開業) など

初期研修で推奨されるローテート診療科

小児科(その他としては、産婦人科、小児外科、麻酔科、など)



研修Outline

眼科専門研修プログラム

直径24mmの小さな臓器・眼球に関する専門領域まるごと、くまなく研修できます



目指して欲しいのは、考える力を持ったレベルの高い眼科医

眼科学講座
高橋 寛二 教授

当講座は昭和7年の開講以来、全国各地で眼科医療に貢献し、各方面で重責を果たす眼科医を数多く輩出してきました。網膜剥離や糖尿病網膜症の網膜硝子体手術で国内有数の治療施設であり、白内障手術や緑内障手術を含めた年間手術件数は附属3病院合わせて年間約5,000件を誇ります。また、内科的網膜学の重要疾患である加齢黄斑変性においても多くの患者の診断、治療に当たっており、治療件数は全国でもトップレベルです。

専門研修修了後に得られる資格

日本眼科学会専門医

専門研修プログラムでの症例数

	外来症例数	入院症例数	手術症例数
基幹施設での症例数:	45,816例	14,068例	2,221例
関連施設を含めた総症例数:	—	—	31,420例

関連病院

済生会野江病院、市立吹田市民病院、倉敷中央病院、大阪赤十字病院、北野病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、天理よろづ相談所病院 他9病院

専門研修後の進路

- 関西医科大学大学院医学研究科へ進学、学位取得
- 関連施設へ出向の上、眼科医としての臨床能力、専門性を高める研修
- 日本眼科学会専門医取得後、大学内で専門領域を究め、日本眼科学会指導医、PDT認定医などを目指す など

初期研修で推奨されるローテート診療科

循環器内科、代謝内科、膠原病・アレルギー内科、神経内科、脳神経外科、皮膚科、形成外科 など



研修Outline